

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	21 岐阜県
市区町村名	21505八百津町

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
21505八百津町	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	地域において、過疎化、少子化が進んでおり、地域の文化や文化伝承が難しくなっている。また、地域講師やボランティアの高齢者もあり、地域学習のあり方も課題である。経験年数の浅い教員も増え、地域学習の立案が大きな負担にもなっている。	地域学習における地域講師を中心とした活動は増えつつある。また、学校主体であった活動に地域の人々の参加が得られる次活動も増えている。さらには、学校に対して地域行事への参加依頼をする事も増えてきた。	・町として2名の地域コーディネーターを配置し、6校の学校を3校ずつ担当する。 ・コーディネーターは教育委員会および公民館に常駐し、地域と学校の連絡調整を行い、地域講師の発掘や依頼の打診、地域と学校が関わりを深くする行事や活動の企画を引き続き支援していく。	子ども達にふるさと八百津に誇りを持たせると共に、関連事業についての教員の業務負担を軽減する。	教員の月45時間以上の時間外業務の割合	小 19 中 17	%	小 15 中 15	小 17 中 16	02 本年度の目標値を下回り、数値の改善が求められる。 ・推進員の配置により、各学校区における地域学校協働活動本部活動の支援をすることができた。恒例の行事や取り組みも継続しながら、既存事業から派生した新たな行事を行う地域も増えてきた。 ・目標値には到達しなかったが、地域学習に係る学校教員の負担減にもつながっている。長年携わっていただいている地域講師・ボランティア等に負担にならないよう、今後あらたな支援者等の育成に取り組んでいく必要がある。	https://www.town.yaotsu.lg.jp/6092.htm
21505八百津町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	家庭の教育力の低下が懸念されており、家庭学習の習慣が確立できていない子供たちが心配される。	（土曜学習） 学校において困り感のある児童やコミュニケーションが苦手な児童なども参加しており、学校とは違う環境で意欲的に取り組む姿も見られている。 （科学の広場） 様々な理科実験や工作体験で、児童たちの理科への興味喚起を促す。親子での参加も多い。	・町により配置し、教育委員会常駐の地域コーディネーターが、土曜学習の企画運営にあたる。 ・2名の学習支援員を配置するほか、中学生のボランティアを確保し、小学生児童を対象に20日間の学習支援を行う。 ・また子どもたちに科学実験や工作等、実際に触れる、作る、動かすなどの体験を楽しくむ場を提供し、科学の面白さを実感させることで、興味関心を向上させる。	家庭における学習支援の形成と子供の家庭学習の充実。	児童の参加者数	のべ 人数 309	人	400	のべ 人数 306	02 本年度の目標値を達成し、数値の改善が見られた。 ・概ね昨年並みの参加者があった。参加児童の様子から事業の効果があっていられる。今後も学校外で学べる機会・場所づくりを継続していきたい。また、夏休み期間中に実験や工作などの体験を通して“楽しい科学”を学び、興味を持ってもらう「科学の広場」を実施した。様々なブースを設け、大勢の児童に学んでもらえた。（88人） ・多数の支援員に協力してもらえたので、こちらも継続していきたい。	https://www.town.yaotsu.lg.jp/6092.htm

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。